

海老名市高齢者虐待対策地域連絡会第1回連絡会議事録

平成28年10月7日(金)
午前10時00分～12時00分
海老名市役所7階 701会議室

○出席委員(前田委員欠席)

佐々木委員、石川委員、鈴木委員、柳瀬委員、川村委員、本田委員、根岸委員、小田桐委員、藤田委員、樋田委員、市川委員、大谷委員

○市職員事務局

内田保健福祉部参事兼高齢介護課長、萩原高齢者支援包括ケア担当課長、安本高齢者支援係長、山崎主事、前田主事、中山主事補

●第1回連絡会

1 開会

2 課長あいさつ

内田高齢介護課長よりあいさつ

3 副会長あいさつ

藤田委員よりあいさつ

4 第1回連絡会

(1) 委員紹介

各委員より自己紹介

(2) 事務局紹介

5 議題

(1) 平成27年度海老名市高齢者虐待の状況について

事務局より説明

資料1により海老名市の高齢者虐待の状況について山崎主事より説明。

高齢者虐待事例について

資料2により海老名市の高齢者虐待の個別事例について山崎主事、前田主事より説明。

・質疑応答(事例1)

委員: この事例において、本人の発言が変わってしまうのは不安が強いからではないか。

委員: 相談できる相手はいないのか。

委員：施設入所等で本人を安心させることで落ち着くのではないか。
事務局：介護認定が無く、身寄りもない人の場合はどうすべきか。
委員：解決は難しく、その場しのぎになってしまう。
委員：色々な場所に相談していく必要があるのではないか。

・質疑応答（事例2）

委員：この事例においては、本人を教育すれば失禁等が改善するという考えを変えていく必要がある。
委員：ショートステイではオムツを利用していたのか。もし利用していたなら夫に説明してオムツが必要なこと理解してもらう必要がある。
委員：病気のことを夫に理解してもらう必要があるのではないか。
委員：夫については医師からアプローチしてみるのはいかがでしょうか。
委員：夫の介護の仕方を変えるなら同じ男の人に説明してもらうと納得してもらえるかもしれない。
委員：ショートステイで引き離しの結果2人の心境の変化はあるか。
事務局：本人は家に帰りたくないという意思が強い。施設入所は金銭的事情により難しい。
委員：本人が家に帰りたいという意思が出てきたら対応を変える必要があるだろう。

(3) その他

今後の予定について

事務局より今後の予定について

啓発活動として、例年どおり広報にて記事を載せる予定。

6 閉会

藤田副会長より